



2024年3月ダイヤ改正検証に関する申し入れ

団体交渉を行う!その1

議論の中で

団体交渉の申し入れで「つばさ号大幅滑走」の原因と対策を求めた直後、このことに関連した会社のプレス発表があり、また今団体交渉前に社友会掲示が出されたことに対して組合側にも説明があつて然るべきであり**「不誠実、であることを指摘!**

【共通】

1. 2024年3月6日に発生した、つばさ121号が停止位置を大幅に行き過ぎて停車した事象について原因を明らかにすること。また、原因究明されるまで新幹線区間において、L編成単独運転を設定せずU又はJ編成との併結運転とすること。

(回答) 2024年3月6日第121B列車が郡山駅停車時に、所定停止位置を行き過ぎた事象については、複数の要因が重なったことで生じたものと考えており、必要な対策を講じていく考えである。

- 組合
- **原因**を明らかにすること。
 - **対策**を明らかにすること。

- 会社
- ✓ 当時は早朝・低温・軌道上に積雪があり、曲線・下り勾配、セクションがあつたことでブレーキ動作に影響し、制動距離を延伸させる複数の要因を断続的に含んだ区間であつた。**ブレーキ力が低い状態が長く続いたために大幅な停止位置の行き過ぎが発生した。**
 - ✓ 滑走した場合、長くブレーキがかかる構造にする。またATCブレーキ地点を手前に変更して早くブレーキをかける構造にする。研磨子を研磨性が高い構造にする。**冬期間、L編成にE5系・E2系の併結運転を行う。E8系を順次投入し、E3系から置換えていく。**

2. 東京駅ホーム下に乗務員乗り継ぎ詰所を設置すること。

(回答) 東京駅の乗務間合い等に使用する折り返し待機場所は、東京新幹線運輸区とする考えに変わりはない。

- 組合
- 会社の考え方は変わらないか。

- 会社
- ✓ 現在、各グループ会社が使用しているため**設置の計画はない。**

乗務員が安心して乗務ができる環境を整えるべきであり、今後も継続して求めていくことを確認!

【運転士関係】

- 組合
- **上一運庫線付属編成のみの入出区時、11号車付近にある洗浄台を手歯止め装着・撤去時に使用できるようにすること。**
 - 小山運庫線入区時の併合編成の運転時分が不足していることから見直すこと。(小山駅定時に通過すると「1分延」がシステムに表示される)
 - 小山運着発線の**停止位置目標の視認性を向上させること。**

- 会社
- ✓ **洗浄台を使つてはいいのではないかと現在、東幹輸の指導担当と議論をしている最中である。**
 - ✓ 遅れを気にせずに安全運転をしてほしい。遅れたらその報告を積み上げていかないと見直しは難しい。
 - ✓ 着発4番線は対策を行つたが、**他の番線についても調査を進めており交換の計画を検討している。**

【東京新幹線運輸区・共通】

- 組合
- 効率的な運用とするために運転士・車掌の定期行路数を増加させること。
 - 食事を目的とした**乗務の中断の拡大(運転士は最低60分、車掌80分)行うこと。**(ホームから休憩場所までが離れすぎているため)
 - 生活設計のために行路分割を行つた行路については、勤務発表後に変更は行わないこと。

- 会社
- ✓ 東幹輸だけではなく他の運輸区とも相対的に見て行路の設定をしている。
 - ✓ 行路作成については規程に則り行っている。**できるだけ休憩時間をとれるように配慮はしているし、乗務員の気持ちになって行路を作っているところである。**
 - ✓ その場合、戻すことを基本としている。いずれにせよ、当日の副長と乗務員とコミュニケーションをとっていく。